



## 2022年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月13日

上場会社名 株式会社 アルバイトタイムス  
 コード番号 2341 URL <https://www.atimes.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-5524-8725

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第3四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	2,684	16.5	37		28		31	
2021年2月期第3四半期	2,304	34.2	432		414		447	

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 23百万円 ( %) 2021年2月期第3四半期 453百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	1.18	
2021年2月期第3四半期	16.95	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第3四半期	4,856	4,297	88.5	162.81
2021年2月期	4,890	4,320	88.4	163.70

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 4,297百万円 2021年2月期 4,320百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		0.00		0.00	0.00
2022年2月期		0.00			
2022年2月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,886	25.3	30		14		17		0.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期3Q	32,237,249 株	2021年2月期	32,237,249 株
期末自己株式数	2022年2月期3Q	5,844,059 株	2021年2月期	5,844,059 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期3Q	26,393,190 株	2021年2月期3Q	26,393,190 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が長期化する中で、度重なる緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置を受け、ヒトやモノの動きは停滞し、企業活動の制限が繰り返される等厳しい状況が続きました。10月には感染者の減少を受け、緊急事態宣言が解除されたことにより景気回復は期待されるものの、新たな変異株の発生等感染再拡大の懸念は残っており、先行き不透明な状態が続いております。

このような経済環境下、雇用情勢については、緊急事態宣言の解除により採用マインドの回復傾向は見られるものの、本格的な回復には至っていない状況は継続しており、当社の戦略地域である静岡県においては2021年11月の有効求人倍率が前年同月比0.20ポイント上昇の1.13倍となりました。

このような状況において当社グループでは、採用管理システムを顧客に提供する『ワガシャ de DOMO』（サブスクリプション型課金モデル）の拡販施策やオプション商品の開発に注力いたしました。静岡県内では新型コロナウイルス対策を施し、11月に今期2回目（前回開催は5月）のリアルイベントである合同企業面談会『シゴトフェア』を開催いたしました。コストについては求人紙媒体に係る直接コストの印刷費や流通費の圧縮、他経費の全面的な見直し等を継続しております。

また、2021年7月26日に公表いたしましたとおり、2019年5月に株式会社三光アドとの合弁で設立した株式会社BizMoの株式を2021年8月31日付で株式会社三光アドに譲渡いたしました。これは、昨今の事業を取り巻く環境の変化などから、新たなスキームで事業展開を推進していくことが両社の企業価値向上に資するものと判断したためであります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は2,684百万円（前年同四半期比16.5%増）となりました。売上原価は854百万円（前年同四半期比3.7%減）、販売費及び一般管理費は1,868百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。営業損失は37百万円（前年同四半期は営業損失432百万円）、経常損失は28百万円（前年同四半期は経常損失414百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は31百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失447百万円）となりました。

セグメント別の業績（セグメント間の内部取引消去前）を示すと、次のとおりであります。

## (情報提供事業)

情報提供事業では、新型コロナウイルス感染症再拡大による懸念により雇用環境は完全に回復しきれていない状況は継続しており、求人広告メディアの売上は下げ止まりとなっているものの、採用管理システムを顧客に提供する『ワガシャ de DOMO』（サブスクリプション型課金モデル）の販売は拡大しており、売上高は2,251百万円（前年同四半期比20.6%増）、セグメント利益は413百万円（前年同四半期比536.5%増）となりました。

## (販促支援事業)

販促支援事業では、主たる売上であるフリーペーパーの取次において、顧客の販売促進費圧縮等による取次量の減少傾向は継続しており、また、イベント・レジャー関連企業の販促活動の停滞により、販促支援事業における売上高は447百万円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント利益は56百万円（前年同四半期比121.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が4,856百万円（前連結会計年度末比0.7%減）、負債が559百万円（前連結会計年度末比1.8%減）、純資産が4,297百万円（前連結会計年度末比0.5%減）となりました。また、自己資本比率は88.5%となりました。

資産の部では、流動資産が3,829百万円（前連結会計年度末比4.1%減）となりました。これは、現金及び預金が3,341百万円（前連結会計年度末比4.2%減）、売掛金が424百万円（前連結会計年度末比16.0%増）等となったためです。

固定資産は1,027百万円（前連結会計年度末比14.4%増）となりました。これは、有形固定資産が570百万円（前連結会計年度末比1.5%減）、無形固定資産が300百万円（前連結会計年度末比116.3%増）、投資その他の資産が156百万円（前連結会計年度末比13.2%減）となったためです。

負債は559百万円（前連結会計年度末比1.8%減）となりました。これは、未払金が331百万円（前連結会計年度末比8.5%減）、賞与引当金が50百万円（前連結会計年度末比42.2%減）、未払消費税が61百万円（前連結会計年度は1百万円）等となったためです。

純資産は4,297百万円（前連結会計年度末比0.5%減）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が4,368百万円（前連結会計年度末比0.7%減）等となったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期通期業績予想につきましては、2021年5月21日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,488,367	3,341,846
売掛金	365,678	424,180
その他	138,250	63,646
貸倒引当金	△506	△506
流動資産合計	3,991,790	3,829,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	107,302	103,850
土地	444,475	444,475
その他(純額)	26,986	21,999
有形固定資産合計	578,764	570,324
無形固定資産		
ソフトウェア	128,291	289,855
その他	10,606	10,606
無形固定資産合計	138,898	300,461
投資その他の資産		
その他	181,400	157,025
貸倒引当金	△688	△215
投資その他の資産合計	180,711	156,809
固定資産合計	898,374	1,027,596
資産合計	4,890,164	4,856,763
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	362,416	331,784
賞与引当金	87,177	50,351
その他	104,151	164,518
流動負債合計	553,746	546,654
固定負債		
リース債務	15,718	12,823
固定負債合計	15,718	12,823
負債合計	569,465	559,478
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	455,997	455,997
資本剰余金	540,249	526,497
利益剰余金	4,399,879	4,368,638
自己株式	△1,076,000	△1,062,248
株主資本合計	4,320,125	4,288,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,684	12,339
為替換算調整勘定	△3,110	△3,939
その他の包括利益累計額合計	573	8,400
純資産合計	4,320,699	4,297,285
負債純資産合計	4,890,164	4,856,763

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年11月30日)
売上高	2,304,485	2,684,942
売上原価	887,358	854,249
売上総利益	1,417,126	1,830,693
販売費及び一般管理費	1,849,673	1,868,348
営業損失(△)	△432,547	△37,655
営業外収益		
受取利息	82	43
受取賃貸料	630	630
投資事業組合運用益	—	9,112
持分法による投資利益	—	4,812
為替差益	—	1,892
その他	27,829	3,184
営業外収益合計	28,541	19,676
営業外費用		
事業整理損失	—	6,941
関連会社株式売却損	—	1,867
その他	10,929	2,112
営業外費用合計	10,929	10,920
経常損失(△)	△414,934	△28,899
特別損失		
減損損失	44,572	—
特別損失合計	44,572	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△459,507	△28,899
法人税、住民税及び事業税	1,823	1,852
法人税等調整額	△13,795	489
法人税等合計	△11,972	2,341
四半期純損失(△)	△447,535	△31,240
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△447,535	△31,240

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純損失(△)	△447,535	△31,240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,733	8,655
為替換算調整勘定	△183	△828
その他の包括利益合計	△5,917	7,827
四半期包括利益	△453,452	△23,413
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△453,452	△23,413

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月26日 定時株主総会	普通株式	184,752	7	2020年2月29日	2020年5月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

## 1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス関連)

前連結会計年度の有価証券報告書の第5番1項の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む影響が当社グループの業績に及ぼす仮定について重要な変更はありません。

(役員に対する業績連動型株式報酬制度)

当社グループは、2021年4月8日付取締役会において、当社取締役(社外取締役を除きます。)の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価の変動による利益・リスクを株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、株式報酬制度(以下、「本制度」といいます。)の導入を決議し、2021年5月25日開催の第48回定時株主総会において承認決議されました。

## (1) 取引の概要

本自己株式処分は、本制度導入のために設定される信託(以下「本信託」といいます。)の受託者である三井住友信託銀行株式会社(信託口)(再信託受託者:株式会社日本カストディ銀行(信託口))に対して行うものであります。本信託を通じて、当社取締役(社外取締役を除きます。)に対し、当社が定める株式給付規程に従って、役位、業績達成度等に応じて当社株式を給付する業績連動型株式報酬制度であります。なお、役員が当社株式の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

## (2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第3四半期連結会計期間末125,994千円、759千株であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,866,280	438,204	2,304,485	—	2,304,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	15,073	15,073	△15,073	—
計	1,866,280	453,278	2,319,559	△15,073	2,304,485
セグメント利益又は損失(△)	64,926	25,483	90,409	△522,956	△432,547

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△522,956千円は、セグメント間取引消去3,358千円及び全社費用△526,315千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「販促支援事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては44,572千円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,251,374	433,568	2,684,942	—	2,684,942
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	13,610	13,610	△13,610	—
計	2,251,374	447,179	2,698,553	△13,610	2,684,942
セグメント利益又は損失(△)	413,279	56,357	469,636	△507,291	△37,655

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△507,291千円は、セグメント間取引消去3,358千円及び全社費用△510,650千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。